

週刊

愛知民報

2023年県議予定候補（第1次）



豊橋市西区（定数5）



名古屋市西区（定数2）

しもおく奈歩

わしの恵子

共産党
県議

いるといないと 大ちがい（「提言」より）

ではなく、減額して交渉せよと要求して反対したものです。減税日本による歴史修正主義、言論・表現の自由への介入を、県政に持ち込む役割を果たしています。

第2に、議会に対する請願が極端に少なくなったことです。共産党県会議員がいた15年から19年の4年間での請願件数は92件あります。しかし、それが19年から21年の3年間で11件になってしましました。

第1に、共産党県会議員がいた時には行われていた反対と賛成の討論が行われなくなつたことです。共産党県会議員がいなくなつてからは委員会での審議結果の報告を受けて直ちに「異議なし」で知事提案の議案が採択されてしまう翼賛議会となっています。唯一討論が行われるのは予算が審議される2月議会ですが、その時も自民党、公明党、新生あいちの3会派すべてが賛成討論を行つています。

減税日本所属の議員は、2020年12月に、共産党県会議員がいた時には行われていた反対と賛成の討論が行われなくなつたことです。共産党県会議員がいなくなつてからは委員会での審議結果の報告を受けて直ちに「異議なし」で知事提案の議案が採択されてしまう翼賛議会となっています。唯一討論が行われるのは予算が審議される2月議会ですが、その時も自民党、公明党、新生あいちの3会派すべてが賛成討論を行つています。

河村名古屋市長が表現の自由への介入を行い、おおきな社会問題になつたあいちトリエンナーレについて、名古屋市が負担金を支払わないことに対し、裁判でと感想を述べました。

2022年
4月3日
第2580号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 FAX(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

日本共産党愛知県委員会は3月24日県庁内で記者会見をおこない、2023年愛知県議選の予定候補者の第1次発表をしました。

名古屋市西区（定数2）から、わしの恵子（2）、豊橋市（定数5）から、しもおく奈歩の両前議員を擁立します。

わしの氏は「議員の時に求めた県立学校のトイレ洋式化が今も進められている。県民の願い実現へ何としても議会に駆け上がる」、しもおく氏は「コロナから県民を守り、ジェンダー平等、若者が安心して学び働ける県政に変える」と決意を語りました。

同会見では、すやま初美県副委員長・参院初美県副委員長・参院議員と、高橋まさこ党県政策委員長が、提言「参院選、県議選での日本共産党の躍進で安心と希望を」の説明をおこないました。

「提言」は①ケアに手厚い、福祉・くらし・教育第一②大企業のもうけ第一の成長戦略から、中小企業や農業などを支援し、地域経済を再生する③環境破壊とエネルギー浪費の大型開発をやめ、環境と防災を大切にする④ジェンダー平等と個

りました。

（「提言」の全文は日

本共産党愛知県委員会ホームページの「政策」

ホーリーページの「政策」

のコーナーで閲覧できます）

**提言発表
安心と希望の新しい愛知県政実現を
参院選・県議選の日本共産党躍進で**

編集部より
県議予定候補の決意表明は、今週・来週とわたって4面「ともに歩む」のコーナーで紹介します。



参院選まで3ヶ月 すやま候補が支持呼びかけ

共産党宣伝
キャラバン

夏の参院選は、6月22日公示、7月10日投票の見通し。各党は公示まで100日を切ったところで、必死の取り組み。「比例議席」をめざす日本共产党は、昨年の総選挙で支持してくれた人々に働きかけ、「積極的支持者」をつくる活動に取り組んでいます。同党愛知県委員会の宣伝キャラバンは、名古屋市外のコースを走っています。3月25日には市議選を控えた愛西市に入り、すやま初美参院愛知県選挙区予定候補が「ロシアの大国民主義・霸権主義と正面からたたかってきた日本共産党を大きく」と呼びかけました。